

東京書籍「精選論理国語」(論国 002-902)

■「混じり合う言葉」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。 ・筆者の体験(具体)と考察(抽象)の関係を読み取り、筆者の主張を理解し、説明している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。 ・筆者の体験(具体)と考察(抽象)の関係を読み取り、筆者の主張を理解している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。 ・筆者の体験(具体)と考察(抽象)の関係を読み取ることをせず、筆者の主張を理解していない。
	③評論 キーワード (1) イ	・「アイデンティティー」「差異」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解し、説明している。	・「アイデンティティー」「差異」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解している。	・「アイデンティティー」「差異」という概念語について、辞書的な意味や本文の文脈の中での使われ方を理解していない。
思考・判断・表現	④展開の把握 読(1) ア	・三つの段のそれぞれの部分で取り上げられていることを整理して全体の構成を理解し、説明している。	・三つの段のそれぞれで述べられていることを整理して全体の構成を把握している。	・三つの段のそれぞれで述べられていることを整理していないか、整理だけにとどまり、全体の構成を理解していない。
	⑤内容把握 読(1) ア	・中心的主張やその根拠にかかわる内容に対して質問を考え、疑問点を的確に説明している。 ・筆者が幼少時に考えた「表音文字」と「表意文字」の違いを読み取り、説明している。 ・漢字名の「名付け」とアイデンティティーの模索の関係性を読み取り、説明している。 ・「言語的相対論」の考え方を理解し、言語と人間の「環世界」についての筆者の主張を読み取り、説明している。	・中心的主張やその根拠にかかわる内容に対して質問を考えている。 ・筆者が幼少時に考えた「表音文字」と「表意文字」の違いを読み取っている。 ・漢字名の「名付け」とアイデンティティーの模索の関係性を読み取っている。 ・「言語的相対論」の考え方を理解し、言語と人間の「環世界」についての筆者の主張を読み取っている。	・中心的主張やその根拠にかかわる内容に対して質問を考えていない。 ・筆者が幼少時に考えた「表音文字」と「表意文字」の違いを読み取っていない。 ・漢字名の「名付け」とアイデンティティーの模索の関係性を読み取っていない。 ・「言語的相対論」の考え方を理解しておらず、言語と人間の「環世界」についての筆者の主張を読み取っていない。

主体的に 学習に取り組む 態度		・日本語とフランス語の混ざった「言語の環世界」での筆者の体験と娘への願いを読み取り、説明している。	・日本語とフランス語の混ざった「言語の環世界」での筆者の体験と娘への願いを読み取っている。	・日本語とフランス語の混ざった「言語の環世界」での筆者の体験と娘への願いを読み取っていない。
	⑥キーワード 把握 読（１）ア	・「言語的相対論」について、本文以外の文章や資料から読み取り、説明している。	・「言語的相対論」について、本文以外の文章や資料から読み取っている。	・「言語的相対論」について、本文以外の文章や資料から読み取っていない。
	⑦表現の特徴の 理解 読（１）エ	・「…かもしれない」「…だろうと想像する」「…ようにも思う」などの主張の確からしさの強弱を示す表現を押さえ、その表現効果について理解し、説明している。 ・多言語文化で育った筆者の体験や、現在の娘の様子を示す効果について、筆者の意図と関連づけながら理解し、説明している。	・「…かもしれない」「…だろうと想像する」「…ようにも思う」などの主張の確からしさの強弱を示す表現を押さえ、その表現効果について理解している。 ・多言語文化で育った筆者の体験や、現在の娘の様子を示す効果について、筆者の意図と関連づけながら理解している。	・「…かもしれない」「…だろうと想像する」「…ようにも思う」などの主張の確からしさの強弱を示す表現を押さえず、その表現効果について理解していない。 ・多言語文化で育った筆者の体験や、現在の娘の様子を示す効果について、筆者の意図と関連づけながら理解していない。
	⑧情報の収集 書（１）ア	・「好きな言葉」について、自分の考えを文章にまとめるために、これまでの経験や知識から必要な情報を的確に収集・整理し、明確な根拠となる題材を選んでいる。	・「好きな言葉」について、自分の考えを文章にまとめるために、これまでの経験や知識から必要な情報を収集・整理し、根拠となる題材を選んでいる。	・「好きな言葉」について、自分の考えを文章にまとめるために、これまでの経験や知識から必要な情報を収集・整理していないか、根拠となる題材を選んでいる。
	⑨根拠の検討 書（１）エ	・「好きな言葉」について、多面的・多角的視点から自分の考えの妥当性を見直し、その適否について検討し、説明している。	・「好きな言葉」について、多面的・多角的視点から自分の考えの妥当性を見直し、その適否について検討している。	・「好きな言葉」について、多面的・多角的視点から自分の考えの妥当性を見直し、その適否について検討していない。
	⑩表現の検討 書（１）オ	・自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味し、表現の細部にまで注意を払っている。	・自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味している。	・自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味していない。
	⑪学習への態度	・本文の理解を踏まえたうえで、人間の思考や認識と「言語」の関連性についての見方を深め、説明しようとしている。	・本文の理解を踏まえたうえで、人間の思考や認識と「言語」の関連性についての見方を深めようとしている。	・本文の理解を踏まえたうえで、人間の思考や認識と「言語」の関連性についての見方を深めようとしていない。

■「言語と記号」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。 ・引用や具体例と筆者の主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解し、説明している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。 ・引用や具体例と筆者の主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。 ・引用や具体例と筆者の主張の関係を読み取ることをせず、筆者の主張を理解していない。
	③評論キーワード (1) イ	・「記号」「差異」「文節」「主体」「近代」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解し、説明している。	・「記号」「差異」「文節」「主体」「近代」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解している。	・「記号」「差異」「文節」「主体」「近代」という概念語について、辞書的な意味や本文の文脈の中での使われ方を理解していない。
思考・判断・表現	④キーワード把握 読(1) ア	・「言語記号」と「他の一般記号」との違いを整理して理解し、説明している。 ・従来の「記号観」と筆者の主張を対比して理解し、説明している。	・「言語記号」と「他の一般記号」との違いを整理して理解している。 ・従来の「記号観」と筆者の主張を対比して理解している。	・「言語記号」と「他の一般記号」との違いを整理してしないか、整理だけにとどまり理解していない。 ・従来の「記号観」と筆者の主張を対比して理解していない。
	⑤展開の把握 読(1) ア	・内容に即して意味段落に分けて適切な小見出しをつけ、その根拠を説明している。 ・各意味段落の関係性を、キーワードを使って図示し、説明している。	・内容に即して意味段落に分けて適切な小見出しをつけている。 ・各意味段落の関係性を、キーワードを使って図示している。	・内容に即して意味段落に分けておらず、適切な小見出しをつけていない。 ・各意味段落の関係性を、キーワードを使って図示していない。
	⑥内容把握 読(1) ア	・従来の記号学における記号観と、その範疇を超える言語記号の特殊性を、各具体例に即して理解し、説明している。	・従来の記号学における記号観と、その範疇を超える言語記号の特殊性を、各具体例に即して理解している。	・従来の記号学における記号観と、その範疇を超える言語記号の特殊性を、各具体例に即して理解していない。

		・「名付ける」という行為の根源的作用を、具体例に即して理解し、説明している。 ・「命名行為」と文化形成力の関連性について、具体例に即して理解し、説明している。 ・「典型的な記号」ではないが「記号と見なすことができる」事柄について理解し、説明している。 ・「言語が、『名付ける』ことによって文化を形成する」とはということか理解し、説明している。	・「名付ける」という行為の根源的作用を、具体例に即して理解している。 ・「命名行為」と文化形成力の関連性について、具体例に即して理解している。 ・「典型的な記号」ではないが「記号と見なすことができる」事柄について理解している。 ・「言語が、『名付ける』ことによって文化を形成する」とはということか理解している。	・「名付ける」という行為の根源的作用を、具体例に即して理解していない。 ・「命名行為」と文化形成力の関連性について、具体例に即して理解していない。 ・「典型的な記号」ではないが「記号と見なすことができる」事柄について理解していない。 ・「言語が、『名付ける』ことによって文化を形成する」とはということか理解していない。
	⑦表現の特徴の理解 読(1)エ	・「…に対し」「…むしろ…」などの対比表現や、疑問を含む表現、筆者の価値判断を示す表現の効果について理解し、説明している。 ・傍点や「——」（ダッシュ）の付された意味を考え、説明している。	・「…に対し」「…むしろ…」などの対比表現や、疑問を含む表現、筆者の価値判断を示す表現の効果について理解している。 ・傍点や「——」（ダッシュ）の付された意味を考えている。	・「…に対し」「…むしろ…」などの対比表現や、疑問を含む表現、筆者の価値判断を示す表現の効果について理解していない。 ・傍点や「——」（ダッシュ）の付された意味を考えていない。
主体的に学習に取り組む態度	⑧学習への態度	・本文の内容を踏まえて、言語に対するこれまでの自分の考え方と筆者の考えを比較して、言語の持つ文化形成力について自分の考えを深め、説明しようとしている。	・本文の内容を踏まえて、言語に対するこれまでの自分の考え方と筆者の考えを比較して、言語の持つ文化形成力について自分の考えを深めようとしている。	・本文の内容を踏まえて、言語に対するこれまでの自分の考え方と筆者の考えを比較せず、言語の持つ文化形成力について自分の考えを深めようとしていない。

■「【言葉のトレーニング】やさしい日本語」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き (1) ア	・言葉の働きや役割について考え、目的や場面に応じてより適切な言葉を用いるための方法を理解し、説明している。	・言葉の働きや役割について考え、目的や場面に応じてより適切な言葉を用いるための方法を理解している。	・言葉の働きや役割について考えていないか、考えていても目的や場面に応じてより適切な言葉を用いるための方法を理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・取り上げられた事例の背景や原因、書き換えの具体例などの書き表し方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。	・取り上げられた事例の背景や原因、書き換えの具体例などの書き表し方を理解している。	・取り上げられた事例の背景や原因、書き換えの具体例などの書き表し方を理解していない。
	③情報の整理 (2) イ	・対象によって、情報の具体・抽象の度合いや重要度を絞り込み、資料の特徴を可視化する方法を理解し、説明している。	・対象によって、情報の具体・抽象の度合いや重要度を絞り込み、資料の特徴を可視化する方法を理解している。	・対象によって、情報の具体・抽象の度合いや重要度を絞込んだり、資料の特徴を可視化したりする方法を理解していない。
思考・判断・表現	④内容把握 読(1) ア	・「緊急時」の言い換え例から、外国人に向けた「やさしい日本語」について読み取り、説明している。 ・「公的文書」の書き換え例から、読んで分かりやすい「やさしい日本語」について読み取り、説明している。	・「緊急時」の言い換え例から、外国人に向けた「やさしい日本語」について読み取っている。 ・「公的文書」の書き換え例から、読んで分かりやすい「やさしい日本語」について読み取っている。	・「緊急時」の言い換え例から、外国人に向けた「やさしい日本語」について読み取っていない。 ・「公的文書」の書き換え例から、読んで分かりやすい「やさしい日本語」について読み取っていない。
	⑤表現の特徴の理解 読(1) エ	・ガイドラインの各項目の「やさしい」表現への書き換えの意図を理解したうえで、表現の方法について、多面的・多角的な視点から検討し、評価を説明している。 ・「問題」に取り組むにあたり、書き手の意図を踏まえたうえで、ガイドラインに基づいて文章の表現を検討し、適切な表現の仕方について評価し、説明している。	・ガイドラインの各項目の「やさしい」表現への書き換えの意図を理解したうえで、表現の方法について、多面的・多角的な視点から検討している。 ・「問題」に取り組むにあたり、書き手の意図を踏まえたうえで、ガイドラインに基づいて文章の表現を検討し、適切な表現の仕方について評価している。	・ガイドラインの各項目の「やさしい」表現への書き換えの意図を理解したうえで、表現の方法について、多面的・多角的な視点から検討していない。 ・「問題」に取り組むにあたり、書き手の意図を踏まえたうえで、ガイドラインに基づいて文章の表現を検討し、適切な表現の仕方について評価していない。

	⑥内容の解釈 読(1)才	・本文と、二つの資料を比較して検討し、「やさしい日本語」についての理解を深め、説明している。	・本文と、二つの資料を比較して検討し、「やさしい日本語」についての理解を深めている。	・本文と、二つの資料を比較して検討せず、「やさしい日本語」について理解していない。
主体的に 学習に取り組む 態度	⑦学習への態度	・本文の理解を踏まえて、「問題」の文書を「やさしい日本語」に書き換え、日本語の書き換える必要がある場面を具体的に挙げて、考えを深め、説明しようとしている。	・本文の理解を踏まえて、「問題」の文書を「やさしい日本語」に書き換え、日本語の書き換える必要がある場面を具体的に挙げて、考えを深めようとしている。	・本文の理解を踏まえて、「問題」の文書を「やさしい日本語」に書き換えをせず、日本語の書き換える必要がある場面を具体的に挙げず考えを深めようとしていない。

■「環境問題と孤立した個人」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。 ・譲歩のかたち、対比や要約表現、同義表現の反復（言い換え）や項目立てなどを理解し、それらの重要性について説明している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。 ・譲歩のかたち、対比や要約表現、同義表現の反復（言い換え）や項目立てなどを理解している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。 ・譲歩のかたち、対比や要約表現、同義表現の反復（言い換え）や項目立てなどを理解していない。
	③評論キーワード (1) イ	・「近代」「還元」「二元論」「主体」「表象」「アイデンティティー」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解し、説明している。	・「近代」「還元」「二元論」「主体」「表象」「アイデンティティー」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解している。	・「近代」「還元」「二元論」「主体」「表象」「アイデンティティー」という概念語について、辞書的な意味や本文の文脈の中での使われ方を理解していない。
思考・判断・表現	④主題把握 読(1) アエ	・「近代科学の自然観」における「二元論的な認識論」を捉え、「環境問題」との関連性を理解して主要な論点を読み取り、説明している。	・「近代科学の自然観」における「二元論的な認識論」を捉え、「環境問題」との関連性を理解して主要な論点を読み取っている。	・「近代科学の自然観」における「二元論的な認識論」を捉えておらず、「環境問題」との関連性を理解して主要な論点を読み取っていない。
	⑤段落分け 読(1) ア	・分かりづらいと感じたところを質問のかたちにしなが、内容に即して意味段落に分け、その根拠を説明している。 ・意味段落ごとに小見出しをつけ、その根拠を説明している。	・分かりづらいと感じたところを質問のかたちにしなが、内容に即して意味段落に分けている。 ・意味段落ごとに小見出しをつけている。	・分かりづらいと感じたところを質問のかたちにせず、内容に即して意味段落に分けていない。 ・意味段落ごとに小見出しをつけていない。
	⑥内容把握 読(1) ア	・「近代科学の自然観」についての特徴を読み取り、説明している。	・「近代科学の自然観」についての特徴を読み取っている。	・「近代科学の自然観」についての特徴を読み取っていない。

主体的に 学習に取り組む 態度		・「二元論的な認識論」について、本文の例に即して理解し、説明している。 ・「近代科学の自然観」と同型な、近代社会の個人概念について読み取り、説明している。 ・「近代の人間観」の問題点についての筆者の考えを読み取り、説明している。 ・筆者の考えを読み取り、二百字程度で的確に要約し、説明している。	・「二元論的な認識論」について、本文の例に即して理解している。 ・「近代科学の自然観」と同型な、近代社会の個人概念について読み取っている。 ・「近代の人間観」の問題点についての筆者の考えを読み取っている。 ・筆者の考えを読み取り、二百字程度で要約している。	・「二元論的な認識論」について、本文の例に即して理解していない。 ・「近代科学の自然観」と同型な、近代社会の個人概念について読み取っていない。 ・「近代の人間観」の問題点についての筆者の考えを読み取っていない。 ・筆者の考えを読み取り、二百字程度で要約していない。
	⑦筆者の意図の 解釈 読（１）エ	・近代社会の個人概念から生じる政治的・社会的問題を取り上げた筆者の意図を理解し、筆者の伝えたいことを捉えて、説明している。 ・抽象的語句や具体例、逆説的表現を整理し、それらがもたらす効果について理解し、説明している。 ・「確かに…。しかし…」などの「譲歩」を用いた表現の効果について理解し、説明している。 ・「…なのだろうか。」などの疑問を含む表現と筆者の主張の関係を捉え、説明している。	・近代社会の個人概念から生じる政治的・社会的問題を取り上げた筆者の意図を理解し、筆者の伝えたいことを捉えている。 ・抽象的語句や具体例、逆説的表現を整理し、それらがもたらす効果について理解している。 ・「確かに…。しかし…」などの「譲歩」を用いた表現の効果について理解している。 ・「…なのだろうか。」などの疑問を含む表現と筆者の主張の関係を捉えている。	・近代社会の個人概念から生じる政治的・社会的問題を取り上げた筆者の意図を理解しておらず、筆者の伝えたいことを捉えていない。 ・抽象的語句や具体例、逆説的表現を整理していないか、整理だけにとどまり、それらがもたらす効果について理解していない。 ・「確かに…。しかし…」などの「譲歩」を用いた表現の効果について理解していない。 ・「…なのだろうか。」などの疑問を含む表現と筆者の主張の関係を捉えていない。
	⑧吟味・推敲 書（１）カ	・よりの確な要約文にするために、他者との意見交換を踏まえて、自分の文章を書き手と読み手の立場から捉え直し、推敲している。	・よりの確な要約文にするために、他者との意見交換を踏まえて、自分の文章を推敲している。	・よりの確な要約文にするために、他者との意見交換を踏まえて、自分の文章を推敲していない。
	⑨学習への態度	・本文の理解を踏まえて、人間の自然観・社会観という新たな視点から環境問題について捉え直し、自分の考えを深め、説明しようとしている。	・本文の理解を踏まえて、人間の自然観・社会観という新たな視点から環境問題について捉え直し、自分の考えを深めようとしている。	・本文の理解を踏まえて、人間の自然観・社会観という新たな視点から環境問題について捉え直しておらず、自分の考えを深めようとしていない。

■「【探究編】資料を活用して論述する」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①論の形式 (1)エ	- 小論文の基本的な構成や、各段落の中心文を明確にして文章全体の論旨が分かりやすくなる段落構造を理解し、説明している。 - 収集した資料を用いながら、論述の文章を展開する方法を理解し、説明している。	- 小論文の基本的な構成や、各段落の中心文を明確にして文章全体の論旨が分かりやすくなる段落構造を理解している。 - 収集した資料を用いながら、論述の文章を展開する方法を理解している。	- 小論文の基本的な構成や、各段落の中心文を明確にして文章全体の論旨が分かりやすくなる段落構造を理解していない。 - 収集した資料を用いながら、論述の文章を展開する方法を理解していない。
	②情報の理解 (2)ア	収集した資料の整理を通して、立場の違いによる主張や論拠の違い、問題意識の違いなどを対比的に検討し、それぞれの情報との関係について理解している。	収集した資料の整理を通して、立場の違いによる主張や論拠の違い、問題意識の違いなどを検討し、理解している。	収集した資料の整理を通して、立場の違いによる主張や論拠の違い、問題意識の違いなどを検討していない。
	③情報の整理 (2)イ	情報の信頼性や、具体性・抽象度に加え、重要度にも注意しながら、資料の特徴を可視化して整理している。	情報の信頼性や、具体性・抽象度に注意しながら、資料の特徴を整理している。	情報の信頼性や、具体性・抽象度に注意しながら、資料を整理していない。
思考・判断・表現	④題材の決定と情報収集 書(1)ア	「SDGs」から収集した情報を整理したうえで、自分の興味・関心や問題意識に根差した適切なテーマを選んでいる。 - テーマに沿って、立場や主張に偏りがなく、多様な資料を収集している。 - 整理した資料の考察から、「問い」のかたちで論題の候補を箇条書きし、論じる視点や範囲を考えて論題を決定している。	「SDGs」から自分の興味・関心や問題意識に根差したテーマを選んでいる。 - テーマに沿って、多様な資料を収集している。 - 整理した資料の考察から、論題の候補を考え、論題を決定している。	「SDGs」から自分の興味・関心や問題意識に根差したテーマを選んでいる。 - テーマに沿って、多様な資料を収集していない。 - 整理した資料の考察から、論題の候補を考えておらず、論題を決定していない。
	⑤論点の検討 書(1)イ	各資料の主張や根拠、共通点や相違点、相互関係を整理して考察し、自分の視点と意見を明確にして立場を明確にしている。	各資料の主張や根拠、共通点や相違点、相互関係を整理して考察し、自分の視点と意見を明確にしている。	各資料の主張や根拠、共通点や相違点、相互関係を整理して考察しておらず、自分の視点と意見を明確にしていない。

		・現状の提示、意見の根拠など客観的証拠として資料を位置づけ、適切なデータを取捨選択している。	・現状の提示、意見の根拠など客観的証拠として資料を位置づけている。	・現状の提示、意見の根拠など客観的証拠として資料を位置づけていない。
	⑥表現の検討 書（１）オ	・序論・本論・結論の構成に沿って、読み手が理解しやすいように、自分の意見を筋道立てて論述している。 ・解決案、改善案、提言などの自分の意見を、根拠を明確にして示している。 ・自分の意見の説得力を高めるために、接続表現や対比、引用・具体例や資料などを効果的に用いることを理解し、活用している。	・序論・本論・結論の構成に沿って、自分の意見を筋道立てて論述している。 ・解決案、改善案、提言などの自分の意見を示している。 ・自分の意見の説得力を高めるために、接続表現や対比、引用・具体例や資料などを活用している。	・序論・本論・結論の構成に沿っておらず、自分の意見を筋道立てて論述していない。 ・解決案、改善案、提言などの自分の意見を示していない。 ・自分の意見の説得力を高めるために、接続表現や対比、引用・具体例や資料などを活用していない。
主体的に学習に取り組む態度	⑦学習への態度	・テーマに沿って収集・整理した資料の考察から論題を設定し、資料に裏付けされた自分の意見が的確に伝わる文章構成を理解し、論述をしようとしている。	・テーマに沿って収集・整理した資料の考察から論題を設定し、資料に裏付けされた自分の意見が伝わる論述をしようとしている。	・テーマに沿って収集・整理した資料の考察から論題を設定しておらず、資料に裏付けされた自分の意見が伝わる論述をしようとしていない。

■「鏡の中の現代社会」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の要約表現や同義表現の反復（繰り返し）、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。 ・筆者の体験や具体例・引用と主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解し、説明している。	・文章の要約表現や同義表現の反復（繰り返し）、接続の仕方を理解している。 ・筆者の体験や具体例・引用と主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解している。	・文章の要約表現や同義表現の反復（繰り返し）、接続の仕方を理解していない。 ・筆者の体験や具体例・引用と主張の関係を読み取することをせず、筆者の主張を理解していない。
	③評論キーワード (1) イ	・「近代」という概念語について、辞書的な意味だけでなく「近代」の中心的な考え方を捉えて、本文の文脈の中での使われ方を理解し、説明している。	・「近代」という概念語について、辞書的な意味だけでなく「近代」の中心的な考え方を捉えて、本文の文脈の中での使われ方を理解している。	・「近代」という概念語について、辞書的な意味や本文の文脈の中での使われ方を理解していない。
思考・判断・表現	④展開の把握 読(1) ア	・各意味段落の内容を踏まえ、適切な小見出しをつけ、その根拠について説明している。 ・各意味段落の内容を読み取り、キーワードを使って関係性を図示し、説明している。	・各意味段落の内容を踏まえ、適切な小見出しをつけている。 ・各意味段落の内容を読み取り、キーワードを使って関係性を図示している。	・各意味段落の内容を踏まえた適切な小見出しをつけていない。 ・各意味段落の内容を読み取り、キーワードを使って関係性を図示していない。
	⑤内容把握 読(1) ア	・中心的主張やその根拠にかかわる内容に対して質問を考え、疑問点を的確に説明している。 ・本文の最初と最後に示される「〈自明性の罅からの解放〉」、「〈自明性の檻〉の外部に出てみる」という内容に注意し、筆者の主要な論点を理解し、説明している。	・中心的主張やその根拠にかかわる内容に対して質問を考えている。 ・本文の最初と最後に示される「〈自明性の罅からの解放〉」、「〈自明性の檻〉の外部に出てみる」という内容に注意し、筆者の主要な論点を理解している。	・中心的主張やその根拠にかかわる内容に対して質問を考えていない。 ・本文の最初と最後に示される「〈自明性の罅からの解放〉」、「〈自明性の檻〉の外部に出てみる」という内容に注意せず、筆者の主要な論点を理解していない。

主体的に 学習に取り組む 態度		・異国の人々と、「近代」の精神との時間に対する感覚の違いを読み取り、説明している。 ・日本ではあたりまえの「忙しさ」が、異国では「遠くの狂気」として扱われる理由を読み取り、説明している。 ・ヨーロッパの人たちが育んだ「近代」の時間（時計）と人間たちの生との関係を理解し、説明している。 ・「死者の日」の祭りの「余分の一人分」の感覚の捉え方を読み取り、説明している。	・異国の人々と、「近代」の精神との時間に対する感覚の違いを読み取っている。 ・日本ではあたりまえの「忙しさ」が、異国では「遠くの狂気」として扱われる理由を読み取っている。 ・ヨーロッパの人たちが育んだ「近代」の時間（時計）と人間たちの生との関係を理解している。 ・「死者の日」の祭りの「余分の一人分」の感覚の捉え方を読み取っている。	・異国の人々と、「近代」の精神との時間に対する感覚の違いを読み取っていない。 ・日本ではあたりまえの「忙しさ」が、異国では「遠くの狂気」として扱われる理由を読み取っていない。 ・ヨーロッパの人たちが育んだ「近代」の時間（時計）と人間たちの生との関係を理解していない。 ・「死者の日」の祭りの「余分の一人分」の感覚の捉え方を読み取っていない。
	⑥表現の特徴の理解 読（１）エ	・具体例を多用する筆者の意図を捉え、説明している。 ・「です・ます」調の中に「僕たちは…いる。」などと「である」調で畳みかけるように表現する筆者の意図と効果を捉え、説明している。 ・傍点の付された意味を考え、説明している。	・具体例を多用する筆者の意図を捉えている。 ・「です・ます」調の中に「僕たちは…いる。」などと「である」調で畳みかけるように表現する筆者の意図と効果を捉えている。 ・傍点の付された意味を考えている。	・具体例を多用する筆者の意図を捉えていない。 ・「です・ます」調の中に「僕たちは…いる。」などと「である」調で畳みかけるように表現する筆者の意図と効果を捉えていない。 ・傍点の付された意味を考えていない。
	⑦情報の収集 書（１）ア	・筆者の主張を踏まえて、時間についての自分の考えを文章にまとめるために、これまでの経験から必要な情報を的確に収集・整理し、明確な根拠となる題材を選んでいる。	・筆者の主張を踏まえて、時間についての自分の考えを文章にまとめるために、これまでの経験から必要な情報を収集・整理し、根拠となる題材を選んでいる。	・筆者の主張を踏まえて、時間についての自分の考えを文章にまとめるために、これまでの経験から必要な情報を収集・整理していないか、根拠となる題材を選んでいるか。
	⑧表現の検討 書（１）オ	・自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味し、表現の細部にまで注意を払っている。	・自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味している。	・自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味していない。
	⑨学習への態度	・本文の理解を踏まえたうえで、自分の生きる世界とは異なる価値や時間感覚を持つ社会を知ることの意義を理解し、未来の社会について、考えを深め、説明しようとしている。	・本文の理解を踏まえたうえで、自分の生きる世界とは異なる価値や時間感覚を持つ社会を知ることの意義を理解し、未来の社会について、考えを深めようとしている。	・本文の理解を踏まえたうえで、自分の生きる世界とは異なる価値や時間感覚を持つ社会を知ることの意義を理解せず、未来の社会について、考えを深めようとしていない。

■「おじいさんのランプ」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の要約表現や価値判断を示す語句、譲歩のかたちや否定・対比表現などの接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。 ・具体例や童話の内容と主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解し、説明している。	・文章の要約表現や価値判断を示す語句、譲歩のかたちや否定・対比表現などの接続の仕方を理解している。 ・具体例や童話の内容と主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解している。	・文章の要約表現や価値判断を示す語句、譲歩のかたちや否定・対比表現などの接続の仕方を理解していない。 ・具体例や童話の内容と主張の関係を読み取るところをせず、筆者の主張を理解していない。
	③評論 キーワード (1) イ	・「メディア」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解し、説明している。	・「メディア」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解している。	・「メディア」という概念語について、辞書的な意味や本文の文脈の中での使われ方を理解していない。
	④読書の意義 (3) ア	・情報化社会を題材とする文章を読み、自分の考えと比較・検討することで、読書の意義について理解を深め、説明している。	・情報化社会を題材とする文章を読み、自分の考えと比較・検討することで、読書の意義について理解を深めている。	・情報化社会を題材とする文章を読むが、自分の考えと比較・検討せず、読書の意義について理解していない。
思考・判断・表現	⑤構成の把握 読(1) ア	・意味段落のそれぞれで取り上げられていることを整理して全体の構成を理解し、説明している。	・意味段落のそれぞれで取り上げられていることを整理して全体の構成を理解している。	・意味段落のそれぞれで取り上げられていることを整理して全体の構成を理解していない。
	⑥内容把握 読(1) ア	・童話『おじいさんのランプ』に対する筆者の考えを、メディア環境の変化を踏まえて読み取り、説明している。 ・「技術革新がもたらす社会の変革」と日本の文字文化の現状分析から、筆者の主張を読み取り、説明している。	・童話『おじいさんのランプ』に対する筆者の考えを読み取っている。 ・「技術革新がもたらす社会の変革」と日本の文字文化の現状分析から、筆者の主張を読み取っている。	・童話『おじいさんのランプ』に対する筆者の考えを読み取っていない。 ・「技術革新がもたらす社会の変革」と日本の文字文化の現状分析から、筆者の主張を読み取っていない。

主体的に 学習に取り組む 態度		筆者の考える現代の「本質的变化」と本の機能更新の必要性との関連を読み取り、説明している。	筆者の考える現代の「本質的变化」と本の機能更新の必要性との関連を読み取っている。	筆者の考える現代の「本質的变化」と本の機能更新の必要性との関連を読み取っていない。
	⑦内容の解釈 読(1)オ	「いい話」にカギカッコがついている意図を読み取り、説明している。 「今まで」と「今の僕たち」の違いが筆者の結論につながっていることを理解し、説明している。 - 最終段と第一段の対応関係を理解し、本文最後の言葉の含み持つ意味を読み取り、説明している。	「いい話」にカギカッコがついている意図を読み取っている。 「今まで」と「今の僕たち」の違いが筆者の結論につながっていることを理解している。 - 最終段と第一段の対応関係を理解し、本文最後の言葉の含み持つ意味を読み取っている。	「いい話」にカギカッコがついている意図を読み取っていない。 「今まで」と「今の僕たち」の違いが筆者の結論につながっていることを理解していない。 - 最終段と第一段の対応関係を理解しておらず、本文最後の言葉の含み持つ意味を読み取っていない。
	⑧情報検討と考察 読(1)キ	筆者の主張と、同テーマの他の文章を相互に関連づけながら、現代における「本という形式」について考えを深め、根拠をもって説明している。	筆者の主張と、同テーマの他の文章を相互に関連づけながら、現代における「本という形式」について考えを深めている。	筆者の主張と、同テーマの他の文章を相互に関連づけず、現代における「本という形式」について考えを深めていない。
	⑨情報の収集 書(1)ア	本の今後の在り方について、自分の考えを文章にまとめるために、これまでの経験や知識から必要な情報を的確に収集・整理し、明確な根拠となる題材を選んでいる。	本の今後の在り方について、自分の考えを文章にまとめるために、これまでの経験や知識から必要な情報を収集・整理し、根拠となる題材を選んでいる。	本の今後の在り方について、自分の考えを文章にまとめるために、これまでの経験や知識から必要な情報を収集・整理していないか、根拠となる題材を選んでいる。
	⑩根拠の検討 書(1)エ	本の今後の在り方について、多面的・多角的視点から自分の考えの妥当性を見直し、その適否について検討し、説明している。	本の今後の在り方について、多面的・多角的視点から自分の考えの妥当性を見直し、その適否について検討している。	本の今後の在り方について、多面的・多角的視点から自分の考えの妥当性を見直し、その適否について検討していない。
	⑪表現の検討 書(1)オ	自分の考えを伝えるために的確な文章であるか検討・吟味し、表現の細部にまで注意を払っている。	自分の考えを伝えるために的確な文章であるか検討・吟味している。	自分の考えを伝えるために的確な文章であるか検討・吟味していない。
	⑫学習への態度	筆者の主張を踏まえて、自分にとっての本の存在を振り返り、情報化社会における本の在り方について、自分の考えを深め、説明しようとしている。	筆者の主張を踏まえて、自分にとっての本の存在を振り返り、情報化社会における本の在り方について、自分の考えを深めようとしている。	筆者の主張を踏まえて、自分にとっての本の存在を振り返らず、情報化社会における本の在り方について、自分の考えを深めようとしていない。

■「書物の近代」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・価値判断を示す語句や、否定などの接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。 ・筆者の経験や書物の形態例と主張との関係、話題転換前後の関連性を読み取り、筆者の主張を理解し、説明している。	・価値判断を示す語句や、否定などの接続の仕方を理解している。 ・筆者の経験や書物の形態例と主張との関係、話題転換前後の関連性を読み取り、筆者の主張を理解している。	・価値判断を示す語句や、否定などの接続の仕方を理解していない。 ・筆者の経験や書物の形態例と主張との関係、話題転換前後の関連性を読み取ることがせず、筆者の主張を理解していない。
	③読書の意義 (3) ア	・情報化社会を題材とする文章を読み、自分の考えと比較・検討することで、読書の意義について理解を深め、説明している。	・情報化社会を題材とする文章を読み、自分の考えと比較・検討することで、読書の意義について理解を深めている。	・情報化社会を題材とする文章を読むが、自分の考えと比較・検討せず、読書の意義について理解していない。
思考・判断・表現	④キーワード把握 読(1) ア	・「モノ」としての書物と、読み書きの「ツール」の関連性について、筆者の記憶や歴史的観点から読み取り、説明している。	・「モノ」としての書物と、読み書きの「ツール」の関連性について、筆者の記憶や歴史的観点から読み取っている。	・「モノ」としての書物と、読み書きの「ツール」の関連性について、筆者の記憶や歴史的観点から読み取っていない。
	⑤展開の把握 読(1) ア	・各意味段落の内容を踏まえ、適切な小見出しをつけ、その根拠について説明している。 ・各意味段落の内容を読み取り、キーワードを使って関係性を図示し、説明している。	・各意味段落の内容を踏まえ、適切な小見出しをつけている。 ・各意味段落の内容を読み取り、キーワードを使って関係性を図示している。	・各意味段落の内容を踏まえた適切な小見出しをつけていない。 ・各意味段落の内容を読み取り、キーワードを使って関係性を図示していない。
	⑥内容把握 読(1) ア	・「書物の記憶」における、「モノとしての書物」の魅力について読み取り、説明している。	・「書物の記憶」における、「モノとしての書物」の魅力について読み取っている。	・「書物の記憶」における、「モノとしての書物」の魅力について読み取っていない。

		・読書における「身体的な知覚活動」の内容を、筆者の経験や書物の歴史をもとに読み取り、説明している。 ・「読み書きするツール」の変化と今後の書物の在り方について、筆者の考えを読み取り、説明している。	・読書における「身体的な知覚活動」の内容を、筆者の経験や書物の歴史をもとに読み取っている。 ・「読み書きするツール」の変化と今後の書物の在り方について、筆者の考えを読み取っている。	・読書における「身体的な知覚活動」の内容を、筆者の経験や書物の歴史をもとに読み取っていない。 ・「読み書きするツール」の変化と今後の書物の在り方について、筆者の考えを読み取っていない。
	⑦内容の解釈 読（１）オ	・教科書巻末資料と第二段の内容を相互に関連づけながら、書物の形態に触れた筆者の意図や目的を読み取り、説明している。 ・「読む」ことについて、書物の変遷を踏まえた筆者独自の見解を読み取り、説明している。	・教科書巻末資料と第二段の内容を相互に関連づけながら、書物の形態に触れた筆者の意図や目的を読み取っている。 ・「読む」ことについて、書物の変遷を踏まえた筆者独自の見解を読み取っている。	・教科書巻末資料と第二段の内容を相互に関連づけておらず、書物の形態に触れた筆者の意図や目的を読み取っていない。 ・「読む」ことについて、書物の変遷を踏まえた筆者独自の見解を読み取っていない。
	⑧情報検討と考察 読（１）キ	・筆者の主張と、同テーマの他の文章を相互に関連づけながら、書物の在り方について考えを深め、根拠をもって説明している。	・筆者の主張と、同テーマの他の文章を相互に関連づけながら、書物の在り方について考えを深めている。	・筆者の主張と、同テーマの他の文章を相互に関連づけず、書物の在り方について考えを深めていない。
主体的に学習に取り組む態度	⑨学習への態度	・筆者の主張を踏まえて、幼い頃の本の記憶や日常生活における読み書きツールを振り返り、情報化社会における書物の在り方について、自分の考えを深め、説得力のある説明をしようとしている。	・筆者の主張を踏まえて、幼い頃の本の記憶や日常生活における読み書きツールを振り返り、情報化社会における書物の在り方について、自分の考えを深めようとしている。	・筆者の主張を踏まえて、幼い頃の本の記憶や日常生活における読み書きツールを振り返ることをせず、情報化社会における書物の在り方について、自分の考えを深めようとしていない。

■「読み書きする身体」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・価値判断を示す語句や言い換え、譲歩のかたちや疑問を含む反語表現、接続のかたちを理解し、効果的な組み立て方を説明している。 ・事例・根拠と主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解し、説明している。	・価値判断を示す語句や言い換え、譲歩のかたちや疑問を含む反語表現、接続のかたちを理解している。 ・事例・根拠と主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解している。	・価値判断を示す語句や言い換え、譲歩のかたちや疑問を含む反語表現、接続のかたちを理解していない。 ・事例・根拠と主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解していない。
	③読書の意義 (3) ア	・情報化社会を題材とする文章を読み、自分の考えと比較・検討することで、読書の意義について理解を深め、説明している。	・情報化社会を題材とする文章を読み、自分の考えと比較・検討することで、読書の意義について理解を深めている。	・情報化社会を題材とする文章を読むが、自分の考えと比較・検討せず、読書の意義について理解していない。
思考・判断・表現	④キーワード把握 読(1) ア	・筆者独自の表現である「読書における身体性」の概念について、具体例をもとに理解し、説明している。	・筆者独自の表現である「読書における身体性」の概念について、具体例をもとに理解している。	・筆者独自の表現である「読書における身体性」の概念について、具体例をもとに理解していない。
	⑤展開の把握 読(1) ア	・内容に即した意味段落に分けて適切な小見出しをつけ、その根拠を説明している。 ・各意味段落の関係性を、キーワードを使って図示し、説明している。	・内容に即した意味段落に分けて適切な小見出しをつけている。 ・各意味段落の関係性を、キーワードを使って図示している。	・内容に即した意味段落に分けて適切な小見出しをつけていない。 ・各意味段落の関係性を、キーワードを使って図示していない。
	⑥内容の解釈 読(1) オ	・「モノとしての本の属性」が失われることに対する筆者の問題意識と、「読み書きする身体」の変化についての考えを読み取り、説明している。	・「モノとしての本の属性」が失われることに対する筆者の問題意識と、「読み書きする身体」の変化についての考えを読み取っている。	・「モノとしての本の属性」が失われることに対する筆者の問題意識と、「読み書きする身体」の変化についての考えを読み取っていない。

		・文字が「味覚」や「触覚」と結び付く教育事例と、筆者の主張の関連性を読み取り、説明している。 ・「文字や言葉の魔術的な性質」の表す内容を読み取り、説明している。	・文字が「味覚」や「触覚」と結び付く教育事例と、筆者の主張の関連性を読み取っている。 ・「文字や言葉の魔術的な性質」の表す内容を読み取っている。	・文字が「味覚」や「触覚」と結び付く教育事例と、筆者の主張の関連性を読み取っていない。 ・「文字や言葉の魔術的な性質」の表す内容を読み取っていない。
	⑦情報検討と考察 読(1)キ	・筆者の価値観と、同テーマの他の文章を相互に関連づけながら、書物を通した読書について考えを深め、根拠をもって説明している。	・筆者の価値観と、同テーマの他の文章を相互に関連づけながら、書物を通した読書について考えを深めている。	・筆者の価値観と、同テーマの他の文章を相互に関連づけず、書物を通した読書について考えを深めていない。
主体的に 学習に取り組む 態度	⑧学習への態度	・本文の内容を踏まえたうえで、書物を通した読書の意義と今後の在り方について、自分の考えをまとめ、説得力のある説明をしようとしている。	・本文の内容を踏まえたうえで、書物を通した読書の意義と今後の在り方について、自分の考えをまとめようとしている。	・本文の内容を踏まえたうえで、書物を通した読書の意義と今後の在り方について、自分の考えをまとめようとしていない。

■「【言葉のトレーニング】地方都市を考える」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文章の構成と展開 (1) ウエ	・他者の意見→反対意見の論拠（図1・図2・図3）→現状分析（図4・図5）→筆者の提言という本文の論の構成を理解し、建設的な反論方法について説明している。	・他者の意見→反対意見の論拠（図1・図2・図3）→現状分析（図4・図5）→筆者の提言という本文の論の構成を理解している。	・他者の意見→反対意見の論拠（図1・図2・図3）→現状分析（図4・図5）→筆者の提言という本文の論の構成を理解していない。
	②情報の理解 (2) ア	・他者の意見に対して、図表の読み取りをもとに納得できる根拠や論拠を挙げて反証する方法を理解し、説明している。	・他者の意見に対して、図表の読み取りをもとに納得できる根拠や論拠を挙げて反証する方法を理解している。	・他者の意見に対して、図表の読み取りをもとに納得できる根拠や論拠を挙げて反証する方法を理解していない。
	③推論の理解 (2) ウ	・地方都市の人口減少という実態の原因について、複数の資料を関連づけて分析し、新たな視点を提示する推論の仕方を理解し、説明している。	・地方都市の人口減少という実態の原因について、複数の資料を関連づけて分析し、新たな視点を提示する推論の仕方を理解している。	・地方都市の人口減少という実態の原因について、複数の資料を関連づけて分析し、新たな視点を提示する推論の仕方を理解していない。
思考・判断・表現	④情報収集と吟味 書(1) アイ	・取り上げられた他者の意見と、それに反対する筆者の意見を端的にまとめ、論点や提示された図表の妥当性を吟味している。	・取り上げられた他者の意見と、それに反対する筆者の意見を端的にまとめている。	・取り上げられた他者の意見と、それに反対する筆者の意見を端的にまとめていない。
	⑤情報の検討 書(1) イ	・図1～図5までのグラフから読み取れる事柄を整理し、筆者の意見の根拠と整合性を確認している。	・図1～図5までのグラフから読み取れる事柄を整理し、筆者の意見の根拠を確認している。	・図1～図5までのグラフから読み取れる事柄を整理しておらず、筆者の意見の根拠を確認していない。
	⑥構成の検討 書(1) ウ	・反論を予想して、譲歩表現や対比表現を用いたり、資料を引用したりすることにより、説得力のある記述となることを理解し、説明している。	・反論を予想して、譲歩表現や対比表現を用いたり、資料を引用したりすることにより、説得力のある記述となることを理解している。	・反論を予想して、譲歩表現や対比表現を用いたり、資料を引用したりすることにより、説得力のある記述となることを理解していない。

主体的に 学習に取り組む 態度	⑦学習への態度	統計資料の分析に基づく建設的な反証の方法を理解し、説得力のある推論の仕方や根拠の示し方についての考えを深め、まとめようとしている。	統計資料の分析に基づく建設的な反証の方法を理解し、説得力のある推論の仕方や根拠の示し方についての考えを深めようとしている。	統計資料の分析に基づく建設的な反証の方法を理解しておらず、説得力のある推論の仕方や根拠の示し方についての考えを深めようとしていない。
-----------------------	---------	---	---	--

■「【探究編】社会的な話題に関する文章を読み、短い論文を書く」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①論の形式 (1)エ	・ 論証のための文章の論理的な構成や、各段落の中心文を的確に示し、文章全体の論旨が明確になる段落構造を理解し、説明している。	・ 論証のための文章の論理的な構成や、各段落の中心文を的確に示し、文章全体の論旨が明確になる段落構造を理解している。	・ 論証のための文章の論理的な構成や、各段落の中心文を的確に示し、文章全体の論旨が明確になる段落構造を理解していない。
	②情報の理解 (2)ア	・ 主張と、論拠となる具体例や理由づけの関係性や、異なる根拠を挙げて結論を導く検証について理解し、説明している。	・ 主張と、論拠となる具体例や理由づけの関係性や、異なる根拠を挙げて結論を導く検証について理解している。	・ 主張と、論拠となる具体例や理由づけの関係性や、異なる根拠を挙げて結論を導く検証について理解していない。
	③読書の意義 (3)ア	・ 文章を批判的に検討し、問いを考えながら読むことで、新たな視点や認識が生まれる読書の効用について理解し、説明している。	・ 文章を批判的に検討し、問いを考えながら読むことで、新たな視点や認識が生まれる読書の効用について理解している。	・ 文章を批判的に検討し、問いを考えることで、新たな視点や認識が生まれる読書の効用について理解していない。
思考・判断・表現	④題材設定と情報収集 書(1)ア	・ 社会的話題に関する文章の主張と論拠を整理し、問いを考えて設定して、検証するために必要な資料を、信頼性・妥当性を吟味しながら適切に収集している。	・ 社会的話題に関する文章の主張と論拠を整理し、問いを考えて設定して、検証するために必要な資料を適切に収集している。	・ 社会的話題に関する文章の主張と論拠を整理していないか、整理だけにとどまり、問いを考えず、検証するために必要な資料を適切に収集していない。
	⑤構成の検討 書(1)ウ	・ 問題提示から結論に至る構成を明確にして、筋道を立てて主張に対する根拠を示し、譲歩などの接続表現や限定した表現、資料の引用などを効果的に活用し、読み手への理解を意識して論述している。	・ 問題提示から結論に至る構成を明確にして、筋道を立てて主張に対する根拠を示し、譲歩などの接続表現や限定した表現、資料の引用などを活用して論述している。	・ 問題提示から結論に至る構成を明確にしておらず、筋道を立てて主張に対する根拠を示し、譲歩などの接続表現や限定した表現、資料の引用などを活用して論述していない。
	⑥吟味・推敲 書(1)カ	・ 問いから結論に至る論証の一貫性を吟味し、文章の構成や展開を見直して、適切な修正を行っている。	・ 問いから結論に至る論証の一貫性や、文章の構成や展開を見直している。	・ 問いから結論に至る論証の一貫性や、文章の構成や展開を見直していない。
主体的に学習に取り組む態度	⑦学習への態度	・ 自分の考えを、適切な論拠を挙げて結論を示す論文にまとめ、他者の意見から気づきを得	・ 自分の考えを、論拠を挙げて結論を示す論文にまとめ、他者の意見から気づきを得て、よりよい文章にしようとしている。	・ 自分の考えを、論拠を挙げて結論を示す論文にまとめず、他者の意見から気づきを得て、よりよい文章にしようとしていない。

		て視野を広げ、よりよい文章にしようとしている。		
--	--	--------------------------------	--	--

■「注意書きを読む」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・書き手の意図を明確に伝え、読み手の解釈に揺れが生じる可能性を避けるための、文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方を理解し、説明している。	・書き手の意図を明確に伝え、読み手の解釈に揺れが生じる可能性を避けるための、文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方を理解している。	・書き手の意図を明確に伝え、読み手の解釈に揺れが生じる可能性を避けるための、文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方を理解していない。
	③論の形式 (1) エ	・「文章」と「文書」における、それぞれの目的に応じた効果的な構成や展開の仕方を理解し、説明している。	・「文章」と「文書」における、それぞれの目的に応じた効果的な構成や展開の仕方を理解している。	・「文章」と「文書」における、それぞれの目的に応じた効果的な構成や展開の仕方を理解していない。
思考・判断・表現	④内容把握 読(1) ア	・筆者の提示する「文章」と「文書」の具体例を踏まえて、書き手や受け手の立場からどのような違いがあるかを読み取り、説明している。 ・「文章」と「文書」の違いについて、筆者が自身の経験から「時間」に注目して考察したことを読み取り、説明している。 ・筆者が考える「文章」における「言葉についての興味深い側面」とは何かを読み取り、説明している。	・筆者の提示する「文章」と「文書」の具体例を踏まえて、書き手や受け手の立場からどのような違いがあるかを読み取っている。 ・「文章」と「文書」の違いについて、筆者が自身の経験から「時間」に注目して考察したことを読み取っている。 ・筆者が考える「文章」における「言葉についての興味深い側面」とは何かを読み取っている。	・筆者の提示する「文章」と「文書」の具体例を踏まえて、書き手や受け手の立場からどのような違いがあるかを読み取っていない。 ・「文章」と「文書」の違いについて、筆者が自身の経験から「時間」に注目して考察したことを読み取っていない。 ・筆者が考える「文章」における「言葉についての興味深い側面」とは何かを読み取っていない。
	⑤資料との関係把握 読(1) イ	・筆者が提示した「文章」と「文書」の具体例を相互に関連づけながら、筆者の主張を理解し、説明している。	・筆者が提示した「文章」と「文書」の具体例を相互に関連づけながら、筆者の主張を理解している。	・筆者が提示した「文章」と「文書」の具体例を相互に関連づけながら、筆者の主張を理解していない。

	⑥内容の解釈 読（１）オ	・「文書」の具体例を提示し、それを「文章」に書き換えた筆者の意図を読み取り、その文書の形態が持つ効果や特徴について理解し、説明している。	・「文書」の具体例を提示し、それを「文章」に書き換えた筆者の意図を読み取り、その文書の形態が持つ効果や特徴について理解している。	・「文書」の具体例を提示し、それを「文章」に書き換えた筆者の意図を読み取り、その文書の形態が持つ効果や特徴について理解していない。
	⑦情報検討と考察 読（１）キ	・「文章」と「文書」の比較から得た情報を整理・分析し、それぞれの特徴について自分の考えを深め、説明している。	・「文章」と「文書」の比較から得た情報を整理・分析し、それぞれの特徴について自分の考えを深めている。	・「文章」と「文書」の比較から得た情報を整理・分析し、それぞれの特徴について自分の考えを深めていない。
	⑧表現の検討 書（１）オ	・「文章」と「文書」のそれぞれの特徴を踏まえ、効果的な論の形式や展開効果であるかを検討・吟味し、細部の表現にまで注意を払っている。	・「文章」と「文書」のそれぞれの特徴を踏まえ、効果的な論の形式や展開効果であるかを検討・吟味している。	・「文章」と「文書」のそれぞれの特徴を踏まえ、効果的な論の形式や展開効果であるかを検討・吟味していない。
主体的に 学習に取り組む 態度	⑨学習への態度	・「文章」と「文書」の違いについて筆者の考えを踏まえて、文書の形態が持つ効果について考えを深め、日常生活において生かそうとしている。	・「文章」と「文書」の違いについて筆者の考えを踏まえて、文書の形態が持つ効果について考えを深めようとしている。	・「文章」と「文書」の違いについて筆者の考えを踏まえて、文書の形態が持つ効果について考えを深めようとしていない。

■「損失は避けたい」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。 ・実験内容や図表、具体的な事例と筆者の主張の関係を読み取り、論理の展開の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。 ・実験内容や図表、具体的な事例と筆者の主張の関係を読み取り、論理の展開の仕方を理解している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。 ・実験内容や図表、具体的な事例と筆者の主張の関係を読み取り、論理の展開の仕方を理解していない。
思考・判断・表現	③キーワード把握 読(1) ア	・「損失回避」について、筆者の実験と説明を踏まえて整理し、的確に説明している。	・「損失回避」について、筆者の実験と説明を踏まえて整理している。	・「損失回避」について、筆者の実験と説明を踏まえて整理していない。
	④内容把握 読(1) ア	・筆者が行った実験の「典型的な回答」とはどのようなものかを読み取り、説明している。 ・「所得と満足度の関係」について、筆者の説明をもとに図を読み取り指摘し、説明している。 ・案内はがきの例について、筆者の説明を読み取り、説明している。	・筆者が行った実験の「典型的な回答」とはどのようなものかを読み取っている。 ・「所得と満足度の関係」について、筆者の説明をもとに図を読み取り指摘している。 ・案内はがきの例について、筆者の説明を読み取っている。	・筆者が行った実験の「典型的な回答」とはどのようなものかを読み取っていない。 ・「所得と満足度の関係」について、筆者の説明をもとに図を読み取り指摘していない。 ・案内はがきの例について、筆者の説明を読み取っていない。
	⑤妥当性の吟味 読(1) ウ	・「損失回避」について、筆者の主張を支える実験・具体例とその説明を踏まえて、根拠や思考過程の妥当性を検討・吟味し、説明している。	・「損失回避」について、筆者の主張を支える実験・具体例とその説明を踏まえて、根拠や思考過程の妥当性を検討・吟味している。	・「損失回避」について、筆者の主張を支える実験・具体例とその説明を踏まえて、根拠や思考過程の妥当性を検討・吟味していない。
	⑥考えの形成 読(1) カ	・「損失回避」について、筆者の主張を踏まえたうえで、既存の知識や自分の経験、話し合い	・「損失回避」について、筆者の主張を踏まえたうえで、既存の知識や自分の経験、話し合い	・「損失回避」について、筆者の主張を踏まえたうえで、既存の知識や自分の経験、話し合い

		などで得た他者の意見などと結び付け、自分の考えを見つめ直してまとめたことを示している。	などで得た他者の意見などと結び付け、自分の考えを見つめ直している。	などで得た他者の意見などと結び付け、自分の考えを見つめ直していない。
	⑦表現の検討 書（１）オ	・「損失回避」の考え方を踏まえた依頼文やポスターを作成するために、的確な表現であるかを検討・吟味し、細部にまで注意を払っている。	・「損失回避」の考え方を踏まえた依頼文やポスターを作成するために、的確な表現であるかを検討・吟味している。	・「損失回避」の考え方を踏まえた依頼文やポスターを作成するために、的確な表現であるかを検討・吟味していない。
主体的に学習に取り組む態度	⑧学習への態度	・実験内容と筆者の説明や、図との関係を捉え、「損失回避」の考え方について理解を深め、日常生活や社会での応用の仕方を考え、説明しようとしている。	・実験内容と筆者の説明や、図との関係を捉え、「損失回避」の考え方について理解を深め、日常生活や社会での応用の仕方を考えようとしている。	・実験内容と筆者の説明や、図との関係を捉え、「損失回避」の考え方について理解を深め、日常生活や社会での応用の仕方を考えようとしていない。

■「シェアの痛みから考える」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。 ・文章の対比構造や例示、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方や表現のもたらす効果について理解し、説明している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。 ・文章の対比構造や例示、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方や表現のもたらす効果について理解している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。 ・文章の対比構造や例示、接続の仕方を理解しておらず、効果的な組み立て方や表現のもたらす効果について理解していない。
思考・判断・表現	③構成の把握 読(1) ア	・小見出しを意識しながら各段落の内容をつかみ、筆者の主張の概略を押さえ、全体の構成を把握し、説明している。	・小見出しを意識しながら各段落の内容をつかみ、筆者の主張の概略を押さえ、全体の構成を把握している。	・小見出しを意識しながら各段落の内容をつかみ、筆者の主張の概略を押さえ、全体の構成を把握していない。
	④内容把握 読(1) ア	・「シェアの復権」が必要だと筆者が考える理由を読み取り、説明している。 ・筆者が述べている「シェアの思想を鍛え直すとはどのようなことか読み取り、説明している。 ・「シェア」には作為が入ってきて、探り合いだと筆者が考える理由を読み取り、説明している。 ・「シェアの持つ可能性」についての筆者の主張を読み取り、説明している。	・「シェアの復権」が必要だと筆者が考える理由を読み取っている。 ・筆者が述べている「シェアの思想を鍛え直すとはどのようなことか読み取っている。 ・「シェア」には作為が入ってきて、探り合いだと筆者が考える理由を読み取っている。 ・「シェアの持つ可能性」についての筆者の主張を読み取っている。	・「シェアの復権」が必要だと筆者が考える理由を読み取っていない。 ・筆者が述べている「シェアの思想を鍛え直すとはどのようなことか読み取っていない。 ・「シェア」には作為が入ってきて、探り合いだと筆者が考える理由を読み取っていない。 ・「シェアの持つ可能性」についての筆者の主張を読み取っていない。
	⑤筆者の意図の解釈	・読み手に対して疑問形を用いて問いかけるような表現を用いた筆者の意図について推測	・読み手に対して疑問形を用いて問いかけるような表現を用いた筆者の意図について推測	・読み手に対して疑問形を用いて問いかけるような表現を用いた筆者の意図について推測せ

主体的に 学習に取り組む 態度	読（１）エ	し、その表現の効果について理解し、説明している。	し、その表現の効果について、理解している。	ず、その表現の効果について、理解していない。
	⑥考えの形成 読（１）カ	・「シェアの痛み」にはどのようなものがあるか、筆者の考えを踏まえて、自身の経験や知識、他者の意見を結び付けて、多面的・多角的に考えを深め、説明している。 ・筆者の考えを踏まえ、「近代社会を生きる私たち」について書かれた別の文章と比較し、共通点・相違点をまとめながら、自身の「シェア」に対するこれまでの見方や考え方を再検討し、自分の考えを深めている。	・「シェアの痛み」にはどのようなものがあるか、筆者の考えを踏まえて、自身の経験や知識、他者の意見を結び付けて、考えを深めている。 ・筆者の考えを踏まえ、「近代社会を生きる私たち」について書かれた別の文章と比較し、共通点・相違点をまとめながら、自身の「シェア」に対するこれまでの見方や考え方を再検討している。	・「シェアの痛み」にはどのようなものがあるか、筆者の考えを踏まえて、自身の経験や知識、他者の意見を結び付けて、考えを深めていない。 ・筆者の考えを踏まえ、「近代社会を生きる私たち」について書かれた別の文章と比較し、共通点・相違点をまとめながら、自身の「シェア」に対するこれまでの見方や考え方を再検討していない。
	⑦情報の収集 書（１）ア	・本文と「近代社会を生きる私たち」について書かれた別の文章とを比較し、共通点・相違点を整理し、的確に題材を選んで、説明している。	・本文と「近代社会を生きる私たち」について書かれた別の文章とを比較し、共通点・相違点を整理し、的確に題材を選んでいる。	・本文と「近代社会を生きる私たち」について書かれた別の文章とを比較し、共通点・相違点を整理し、的確に題材を選んでいない。
	⑧学習への態度	・筆者の論の進め方を捉え、「シェア」についての考え方を理解し、現代社会における「シェア」の可能性について考えを深め、説明しようとしている。	・筆者の論の進め方を捉え、「シェア」についての考え方を理解し、現代社会における「シェア」の可能性について考えを深めようとしている。	・筆者の論の進め方を捉え、「シェア」についての考え方を理解し、現代社会における「シェア」の可能性について考えを深めようとしていない。

■「原始社会像の真実」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・問題を提起する表現や譲歩のかたち、否定・対比などの接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。 ・事例や他の言説の引用・根拠と主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解し、説明している。	・問題を提起する表現や譲歩のかたち、否定・対比などの接続の仕方を理解している。 ・事例や他の言説の引用・根拠と主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解している。	・問題を提起する表現や譲歩のかたち、否定・対比などの接続の仕方を理解していない。 ・事例や他の言説の引用・根拠と主張の関係を読み取っておらず、筆者の主張を理解していない。
	③評論キーワード (1) イ	・「ポストモダン」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解し、説明している。	・「ポストモダン」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解している。	・「ポストモダン」という概念語について、辞書的な意味や本文の文脈の中での使われ方を理解していない。
思考・判断・表現	④キーワード把握 読(1) ア	・原始社会を、「戦争」「女性」「環境」という切り口ごとに整理して、単純化した姿と筆者の主張を比較して理解し、的確に説明している。	・原始社会を、「戦争」「女性」「環境」という切り口ごとに整理して、単純化した姿と筆者の主張を比較して理解している。	・原始社会を、「戦争」「女性」「環境」という切り口ごとに整理していないか、整理だけにとどまり、単純化した姿と筆者の主張を比較して理解していない。
	⑤展開の把握 読(1) ア	・内容に即した意味段落に分けて適切な小見出しをつけ、その根拠を説明している。 ・各意味段落の関係性を、キーワードを使って図示し、説明している。 ・接続表現に留意し、前後の関係を把握したうえで、論理の展開を的確に捉え、根拠とともに説明している。	・内容に即した意味段落に分けて適切な小見出しをつけている。 ・各意味段落の関係性を、キーワードを使って図示している。 ・接続表現に留意し、前後の関係を把握したうえで、論理の展開を的確に捉えている。	・内容に即した意味段落に分けて適切な小見出しをつけていない。 ・各意味段落の関係性を、キーワードを使って図示していない。 ・接続表現に留意し、前後の関係を把握したうえで、論理の展開を的確に捉えていない。

主体的に 学習に取り組む 態度	⑥内容把握 読（１）ア	・原始社会には戦争がなかったという見方の問題点と、筆者の考えを読み取り、説明している。 ・原始社会における女性の地位について、一般的な見解と、それとは異なる見方を読み取り、説明している。 ・原始社会では環境を守っていたという見方に対する筆者の考えを読み取り、説明している。 ・原始社会を肯定的に扱う議論が生じる背景を捉え、原始社会の実像の捉え方についての筆者の考えを読み取り、説明している。	・原始社会には戦争がなかったという見方の問題点と、筆者の考えを読み取っている。 ・原始社会における女性の地位について、一般的な見解と、それとは異なる見方を読み取っている。 ・原始社会では環境を守っていたという見方に対する筆者の考えを読み取っている。 ・原始社会を肯定的に扱う議論が生じる背景を捉え、原始社会の実像の捉え方についての筆者の考えを読み取っている。	・原始社会には戦争がなかったという見方の問題点と、筆者の考えを読み取っていない。 ・原始社会における女性の地位について、一般的な見解と、それとは異なる見方を読み取っていない。 ・原始社会では環境を守っていたという見方に対する筆者の考えを読み取っていない。 ・原始社会を肯定的に扱う議論が生じる背景を捉えておらず、原始社会の実像の捉え方についての筆者の考えを読み取っていない。
	⑦考えの形成 読（１）カ	・理想化・単純化した見方を相対化して、多様性を示す筆者の視点を理解し、自分の知識や経験を見つめ直して物事の捉え方に対する自分の考えを深め、根拠をもって説明している。	・理想化・単純化した見方を相対化して、多様性を示す筆者の視点を理解し、自分の知識や経験を見つめ直して物事の捉え方に対する自分の考えを深めている。	・理想化・単純化した見方を相対化して、多様性を示す筆者の視点を理解しておらず、自分の知識や経験を見つめ直して物事の捉え方に対する自分の考えを深めていない。
	⑧学習への態度	・本文の内容から筆者の考えを読み取り、社会に対する歴史的見方や考え方を深め、説明しようとしている。	・本文の内容から筆者の考えを読み取り、社会に対する歴史的見方や考え方を深めようとしている。	・本文の内容から筆者の考えを読み取り、社会に対する歴史的見方や考え方を深めようとしていない。

■「社会の壊れるとき——知性的であるとはどういうことか」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の要約表現や価値判断を示す語句、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。 ・具体例や他の言説の引用と筆者の主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解し、説明している。	・文章の要約表現や価値判断を示す語句、接続の仕方を理解している。 ・具体例や他の言説の引用と筆者の主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解している。	・文章の要約表現や価値判断を示す語句、接続の仕方を理解していない。 ・具体例や他の言説の引用と筆者の主張の関係を読み取ることをせず、筆者の主張を理解していない。
	③評論キーワード (1) イ	・「差異」「国民国家」「近代」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解し、説明している。	・「差異」「国民国家」「近代」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解している。	・「差異」「国民国家」「近代」という概念語について、辞書的な意味や本文の文脈の中での使われ方を理解していない。
思考・判断・表現	④キーワード把握 読(1) ア	・筆者の語る「私たち」の意味や、「近代性」と「摩擦」の関係を読み取り、説明している。	・筆者の語る「私たち」の意味や、「近代性」と「摩擦」の関係を読み取っている。	・筆者の語る「私たち」の意味や、「近代性」と「摩擦」の関係を読み取っていない。
	⑤展開の把握 読(1) ア	・各意味段落の内容を踏まえ、適切な小見出しをつけ、その根拠について説明している。 ・各意味段落の内容を読み取り、キーワードを使って関係性を図示し、説明している。	・各意味段落の内容を踏まえ、適切な小見出しをつけている。 ・各意味段落の内容を読み取り、キーワードを使って関係性を図示している。	・各意味段落の内容を踏まえた適切な小見出しをつけていない。 ・各意味段落の内容を読み取り、キーワードを使って関係性を図示していない。
	⑥内容把握 読(1) ア	・文化の崩壊と「近代性」の関連について、歴史的な展開を捉えて読み取り、説明している。 ・「近代性」という信仰と「摩擦」の維持についての関係を読み取り、説明している。	・文化の崩壊と「近代性」の関連について、歴史的な展開を捉えて読み取っている。 ・「近代性」という信仰と「摩擦」の維持についての関係を読み取っている。	・文化の崩壊と「近代性」の関連について、歴史的な展開を捉えて読み取っていない。 ・「近代性」という信仰と「摩擦」の維持についての関係を読み取っていない。

		筆者の考える「知性的ということ」について、現代の社会情勢を踏まえながら読み取り、説明している。	筆者の考える「知性的ということ」について、現代の社会情勢を踏まえながら読み取っている。	筆者の考える「知性的ということ」について、現代の社会情勢を踏まえながら読み取っていない。
	⑦妥当性の吟味 読（１）ウ	「平和のためには『摩擦』はなくすべきである。」という主張に対する反論を、筆者の立場から考え、適切に論証している。 - 五・一五事件の例を提示した筆者の意図を読み取り、説明している。 - 傍点の付された意味を考え、説明している。	「平和のためには『摩擦』はなくすべきである。」という主張に対する反論を、筆者の立場から考えている。 - 五・一五事件の例を提示した筆者の意図を読み取っている。 - 傍点の付された意味を考えている。	「平和のためには『摩擦』はなくすべきである。」という主張に対する反論を、筆者の立場から考えていない。 - 五・一五事件の例を提示した筆者の意図を読み取っていない。 - 傍点の付された意味を考えていない。
	⑧情報検討と考察 読（１）キ	筆者の主張と、哲学上の難問である「アポリア」に関する文章を相互に関連づけながら、現代社会の諸問題についての自分の考えを深め、根拠をもって説明している。	筆者の主張と、哲学上の難問である「アポリア」に関する文章を相互に関連づけながら、現代社会の諸問題についての自分の考えを深めている。	筆者の主張と、哲学上の難問である「アポリア」に関する文章を相互に関連づけず、現代社会の諸問題についての自分の考えを深めていない。
	⑨情報収集 書（１）ア	筆者の主張についての自分の考えを文章にまとめるために、本文やその他の文章から必要な情報を的確に収集・整理し、明確な根拠となる題材を選んでいる。	筆者の主張についての自分の考えを文章にまとめるために、本文やその他の文章から必要な情報を収集・整理し、根拠となる題材を選んでいる。	筆者の主張についての自分の考えを文章にまとめるために、本文やその他の文章から必要な情報を収集・整理せず、根拠となる題材を選んでいる。
	⑩論点の検討 書（１）イ	収集した情報の共通点や相違点、相互関係を整理して考察し、筆者の主張を踏まえて論点を検討し、明確にしている。	収集した情報の共通点や相違点、相互関係を整理して考察し、筆者の主張を踏まえて論点を検討している。	収集した情報の共通点や相違点、相互関係を整理して考察しておらず、筆者の主張を踏まえて論点を検討していない。
	⑪構成の検討 書（１）ウ	根拠を明確して自分の考えを示すために、本文やその他の文章からの引用を効果的に活用し、読み手への理解を意識して論述している。	根拠を明確して自分の考えを示すために、本文やその他の文章からの引用を活用して論述している。	根拠を明確して自分の考えを示すために、本文やその他の文章からの引用を活用して論述していない。
主体的に学習に取り組む態度	⑫学習への態度	筆者の主張を理解し、現代社会において「知性的」であることの意義について、自分の考えを深め、説明しようとしている。	筆者の主張を理解し、現代社会において「知性的」であることの意義について、自分の考えを深めようとしている。	筆者の主張を理解せず、現代社会において「知性的」であることの意義について、自分の考えを深めようとしていない。

■「虚実の間に」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	- 文章の要約表現や譲歩のかたちなどの接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。 - 文章の対比構造や具体例（現象）とその一般化の関係を読み取り、筆者の主張を理解し、説明している。	- 文章の要約表現や譲歩のかたちなどの接続の仕方を理解している。 - 文章の対比構造や具体例（現象）とその一般化の関係を読み取り、筆者の主張を理解している。	- 文章の要約表現や譲歩のかたちなどの接続の仕方を理解していない。 - 文章の対比構造や具体例（現象）とその一般化の関係を読み取ることをせず、筆者の主張を理解していない。
	③評論 キーワード (1) イ	「主体」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解し、説明している。	「主体」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解している。	「主体」という概念語について、辞書的な意味や本文の文脈の中での使われ方を理解していない。
思考・判断・表現	④キーワード 把握 読(1) ア	- 人間の特性と「分業」の関連、「情報技術」の発達と「フィクション」の関連性について読み取り、説明している。 「フィクション」「トゥルース」「フェイク」について、筆者が述べていることを読み取り、説明している。	- 人間の特性と「分業」の関連、「情報技術」の発達と「フィクション」の関連性について読み取っている。 「フィクション」「トゥルース」「フェイク」について、筆者が述べていることを読み取っている。	- 人間の特性と「分業」の関連、「情報技術」の発達と「フィクション」の関連性について読み取っていない。 「フィクション」「トゥルース」「フェイク」について、筆者が述べていることを読み取っていない。
	⑤展開の把握 読(1) ア	- 分かりづらいつと感じたところを質問のかたちしながら、内容に即した意味段落に分けて適切な小見出しをつけ、その根拠を説明している。 - 各意味段落の関係性を、キーワードを使って図示し、説明している。	- 分かりづらいつと感じたところを質問のかたちしながら、内容に即した意味段落に分けて適切な小見出しをつけている。 - 各意味段落の関係性を、キーワードを使って図示している。	- 分かりづらいつと感じたところを質問のかたちにしておらず、内容に即した意味段落に分けて適切な小見出しをつけていない。 - 各意味段落の関係性を、キーワードを使って図示していない。

	⑥内容把握 読（１）ア	・「分業」が存在する理由を人間の特性と関連づけて読み取り、説明している。 ・「インフラによる生活様式の変化」について読み取り、説明している。 ・文章作成の様式について、タイプライターまでとワードプロセッサ以降の違いを比較してまとめ、説明している。 ・初期の文章様式における、人手や手間の「コスト」の高さが果たした役割を読み取り、説明している。 ・「従来型のフィクション」の書き手と、「トゥールースを偽装する」フィクションの書き手との違いを読み取り、説明している。 ・「フィクション」の存在意義と在り方について、筆者の主張を読み取り、説明している。 ・本文中の中心的な「問い」を捉え、それを踏まえて本文を二百字程度で要約し、説明している。	・「分業」が存在する理由を人間の特性と関連づけて読み取っている。 ・「インフラによる生活様式の変化」について読み取っている。 ・文章作成の様式について、タイプライターまでとワードプロセッサ以降の違いを比較してまとめている。 ・初期の文章様式における、人手や手間の「コスト」の高さが果たした役割を読み取っている。 ・「従来型のフィクション」の書き手と、「トゥールースを偽装する」フィクションの書き手との違いを読み取っている。 ・「フィクション」の存在意義と在り方について、筆者の主張を読み取っている。 ・本文中の中心的な「問い」を捉え、それを踏まえて本文を二百字程度で要約している。	・「分業」が存在する理由を人間の特性と関連づけて読み取っていない。 ・「インフラによる生活様式の変化」について読み取っていない。 ・文章作成の様式について、タイプライターまでとワードプロセッサ以降の違いを比較してまとめている。 ・初期の文章様式における、人手や手間の「コスト」の高さが果たした役割を読み取っていない。 ・「従来型のフィクション」の書き手と、「トゥールースを偽装する」フィクションの書き手との違いを読み取っていない。 ・「フィクション」の存在意義と在り方について、筆者の主張を読み取っていない。 ・本文中の中心的な「問い」を捉え、それを踏まえて本文を二百字程度で要約していない。
	⑦内容の解釈 読（１）オ	・古典作品と筆者の主張を比較し、時代背景や各書き手の立場や目的を推測したうえで、共通性や違いを捉えて、説明している。	・古典作品と筆者の主張を比較し、共通性や違いを捉えている。	・古典作品と筆者の主張を比較し、共通性や違いを捉えていない。
	⑧情報の収集 書（１）ア	・本文中から「フィクション」「トゥールース」「フェイク」について述べられている内容を取捨選択し、的確に収集している。	・本文中から「フィクション」「トゥールース」「フェイク」について述べられている内容を収集している。	・本文中から「フィクション」「トゥールース」「フェイク」について述べられている内容を収集していない。
主体的に学習に取り組む態度	⑨学習への態度	・本文の内容を踏まえて、情報技術がもたらす社会への影響について、身近なSNSなどの問題に引き寄せて考察を深め、考えたことを説明しようとしている。	・本文の内容を踏まえて、情報技術がもたらす社会への影響について、身近なSNSなどの問題に引き寄せて考察を深めようとしている。	・本文の内容を踏まえて、情報技術がもたらす社会への影響について、身近なSNSなどの問題に引き寄せて考察を深めようとしていない。

■「ロボットは意志を持つか」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・同義表現の繰り返しや要約表現、逆接や対比などの接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。 ・哲学的な二つの見方と、言葉を定義する表現とその理解を助ける具体例を通して、筆者の主張を理解し、説明している。	・同義表現の繰り返しや要約表現、逆接や対比などの接続の仕方を理解している。 ・哲学的な二つの見方と、言葉を定義する表現とその理解を助ける具体例を通して、筆者の主張を理解している。	・同義表現の繰り返しや要約表現、逆接や対比などの接続の仕方を理解していない。 ・哲学的な二つの見方と、言葉を定義する表現とその理解を助ける具体例を通して、筆者の主張を理解していない。
	③評論キーワード (1) イ	・「葛藤」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解し、説明している。	・「葛藤」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解している。	・「葛藤」という概念語について、辞書的な意味や本文の文脈の中での使われ方を理解していない。
思考・判断・表現	④キーワード把握 読(1) ア	・哲学論争における「意志」「自由」という概念を理解して、立場による論証の違いを読み取り、説明している。	・哲学論争における「意志」「自由」という概念を理解して、立場による論証の違いを読み取っている。	・哲学論争における「意志」「自由」という概念を理解しておらず、立場による論証の違いを読み取っていない。
	⑤構成の把握 読(1) ア	・五つの段の小見出しと、各段で取り上げられていることを整理して全体の構成を理解し、説明している。 ・段落間のつながりを踏まえ、本文に通底する大きな「問い」と筆者の中心的な主張（答え）を読み取り、端的に説明している。	・五つの段の小見出しと、各段で取り上げられていることを整理して全体の構成を理解している。 ・段落間のつながりを踏まえ、本文に通底する大きな「問い」と筆者の中心的な主張（答え）を読み取っている。	・五つの段の小見出しと、各段で取り上げられていることを整理して全体の構成を理解していない。 ・段落間のつながりを踏まえ、本文に通底する大きな「問い」と筆者の中心的な主張（答え）を読み取っていない。
	⑥内容把握 読(1) ア	・『両立論』と『非両立論』の考え方を読み取って整理し、的確に説明している。	・『両立論』と『非両立論』の考え方を読み取っている。	・『両立論』と『非両立論』の考え方を読み取っていない。

主体的に 学習に取り組む 態度		・「プログラムどおりに動くだけのロボット」と「ブラックボックス化したロボット」の違いを理解し、「非両立論」の立場から自由意志の有無を読み取り、説明している。 ・「欲求」の定義を理解し、「ロボットは欲求を持ちうるか」という問いに対する筆者の考えを読み取り、説明している。 ・「意志」と「欲求」の違いを理解し、筆者が「意志は心の状態ではない」と考える理由を読み取り、説明している。 ・「自分の意志で行為するロボット」と「迷うロボット」についての筆者の考えを読み取り、説明している。	・「プログラムどおりに動くだけのロボット」と「ブラックボックス化したロボット」の違いを理解し、「非両立論」の立場から自由意志の有無を読み取っている。 ・「欲求」の定義を理解し、「ロボットは欲求を持ちうるか」という問いに対する筆者の考えを読み取っている。 ・「意志」と「欲求」の違いを理解し、筆者が「意志は心の状態ではない」と考える理由を読み取っている。 ・「自分の意志で行為するロボット」と「迷うロボット」についての筆者の考えを読み取っている。	・「プログラムどおりに動くだけのロボット」と「ブラックボックス化したロボット」の違いを理解しておらず、「非両立論」の立場から自由意志の有無を読み取っていない。 ・「欲求」の定義を理解せず、「ロボットは欲求を持ちうるか」という問いに対する筆者の考えを読み取っていない。 ・「意志」と「欲求」の違いを理解せず、筆者が「意志は心の状態ではない」と考える理由を読み取っていない。 ・「自分の意志で行為するロボット」と「迷うロボット」についての筆者の考えを読み取っていない。
	⑦妥当性の吟味 読(1)ウ	・本文から任意の部分を選び、筆者の主張に対して異なる根拠を挙げて別の結論を導出する反論を考え、適切に説明している。	・本文から任意の部分を選び、筆者の主張に対して異なる根拠を挙げて別の結論を導出する反論を考えている。	・本文から任意の部分を選び、筆者の主張に対して異なる根拠を挙げて別の結論を導出する反論を考えていない。
	⑧考えの形成 読(1)カ	・筆者の主張と、自分の知識やその他の文章を関連づけながら、哲学的な思考方法について考えを深め、根拠をもって説明している。 ・身の回りのロボットについて調べ、多面的・多角的な視点で自分の考えを深め、説明している。	・筆者の主張と、自分の知識やその他の文章を関連づけながら、哲学的な思考方法について考えを深めている。 ・身の回りのロボットについて調べ、多面的・多角的な視点で自分の考えを深めている。	・筆者の主張と、自分の知識やその他の文章を関連づけず、哲学的な思考方法について考えを深めていない。 ・身の回りのロボットについて調べず、多面的・多角的な視点で自分の考えを深めていない。
	⑨学習への態度	・本文の理解を踏まえて、ロボットが「意志を持つ」ことに対する自分の考えを深め、説明をしようとしている。	・本文の理解を踏まえて、ロボットが「意志を持つ」ことに対する自分の考えを深めようとしている。	・本文の理解を踏まえて、ロボットが「意志を持つ」ことに対する自分の考えを深めようとしていない。

■「抗争する人間」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の要約表現や問いを含む表現、譲歩のかたちなどの接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。 ・問題提起とその答え、言い換え表現や指示語の内容を的確に読み取り、筆者の主張を理解し、説明している。	・文章の要約表現や問いを含む表現、譲歩のかたちなどの接続の仕方を理解している。 ・問題提起とその答え、言い換え表現や指示語の内容を読み取り、筆者の主張を理解している。	・文章の要約表現や問いを含む表現、譲歩のかたちなどの接続の仕方を理解していない。 ・問題提起とその答え、言い換え表現や指示語の内容を読み取することをせず、筆者の主張を理解していない。
	③評論キーワード (1) イ	・「差異」「近代」「主体」「還元」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解し、説明している。	・「差異」「近代」「主体」「還元」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解している。	・「差異」「近代」「主体」「還元」という概念語について、辞書的な意味や本文の文脈の中での使われ方を理解していない。
思考・判断・表現	④キーワード把握 読(1) ア	・「虚栄心」の本質と「自己尊厳」「暴力」との関係を読み取り、説明している。	・「虚栄心」の本質と「自己尊厳」「暴力」との関係を読み取っている。	・「虚栄心」の本質と「自己尊厳」「暴力」との関係を読み取っていない。
	⑤展開の把握 読(1) ア	・内容に即した意味段落に分けて適切な小見出しをつけ、その根拠を説明している。 ・各意味段落の関係性を、キーワードを使って図示し、説明している。	・内容に即した意味段落に分けて適切な小見出しをつけている。 ・各意味段落の関係性を、キーワードを使って図示している。	・内容に即した意味段落に分けて適切な小見出しをつけていない。 ・各意味段落の関係性を、キーワードを使って図示していない。
	⑥内容把握 読(1) ア	・「暴力」が起こる理由を読み取り、説明している。	・「暴力」が起こる理由を読み取っている。	・「暴力」が起こる理由を読み取っていない。

主体的に 学習に取り組む 態度		・「社会的欲望」と「肉体的欲望」の違い、「社会的欲望」の満足する条件を読み取り、説明している。 ・「虚栄心」のはたらきと「暴力」の関係を読み取り、説明している。 ・「虚栄心」と「排除と差別」のつながりを読み取り、説明している。 ・筆者の主張する「倫理的態度」「倫理的努力」の内容を読み取り、説明している。	・「社会的欲望」と「肉体的欲望」の違い、「社会的欲望」の満足する条件を読み取っている。 ・「虚栄心」のはたらきと「暴力」の関係を読み取っている。 ・「虚栄心」と「排除と差別」のつながりを読み取っている。 ・筆者の主張する「倫理的態度」「倫理的努力」の内容を読み取っている。	・「社会的欲望」と「肉体的欲望」の違い、「社会的欲望」の満足する条件を読み取っていない。 ・「虚栄心」のはたらきと「暴力」の関係を読み取っていない。 ・「虚栄心」と「排除と差別」のつながりを読み取っていない。 ・筆者の主張する「倫理的態度」「倫理的努力」の内容を読み取っていない。
	⑦妥当性の吟味 読(1)ウ	・「虚栄心」が生まれる理由について、筆者の論証を検討したうえで、自分の意見をまとめ、的確に説明している。	・「虚栄心」が生まれる理由について、筆者の論証を検討したうえで、自分の意見をまとめている。	・「虚栄心」が生まれる理由について、筆者の論証を検討したうえで、自分の意見をまとめている。
	⑧情報の収集 書(1)ア	・筆者の主張についての自分の考えを文章にまとめるために、これまでの経験や知識から必要な情報を的確に収集・整理し、明確な根拠となる題材を選んでいる。	・筆者の主張についての自分の考えを文章にまとめるために、これまでの経験や知識から必要な情報を収集・整理し、根拠となる題材を選んでいる。	・筆者の主張についての自分の考えを文章にまとめるために、これまでの経験や知識から必要な情報を収集・整理していないか、根拠となる題材を選んでいる。
	⑨論点の検討 書(1)イ	・収集した情報の共通点や相違点、相互関係を整理して考察し、筆者の主張を踏まえて論点を検討し、明確にしている。	・収集した情報の共通点や相違点、相互関係を整理して考察し、筆者の主張を踏まえて論点を検討している。	・収集した情報の共通点や相違点、相互関係を整理して考察しておらず、筆者の主張を踏まえて論点を検討していない。
	⑩表現の検討 書(1)オ	・自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味し、表現の細部にまで注意を払っている。	・自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味している。	・自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味していない。
	⑪学習への態度	・筆者の主張を検討し、他者とどのような関係を築いていくことが望ましいか、自分の考えを深め、説明をしようとしている。	・筆者の主張を検討し、他者とどのような関係を築いていくことが望ましいか、自分の考えを深めようとしている。	・筆者の主張を検討し、他者とどのような関係を築いていくことが望ましいか、自分の考えを深めようとしていない。